



# 発電量 3 メガワット: アユタヤ (タイ)

アユタヤにある太陽光発電所が新記録を打ち立てました。3 メガワットの発電量は、2010 年 3 月の時点で東南アジア最大の民間太陽光発電所でした。この画期的なプロジェクトによって、Conergy はアジアの新興国の太陽光発電市場において自社の際立った地位をさらに強固なものにしています。

## アーキテクチャ計画の「A」からゼロトラブルの「Z」まで

Conergy は、首都バンコクから約 70 キロメートル離れた場所でのプロジェクトの計画、開発、構成部品の調達、および全般的な管理業務を担当しました。この発電所は 2 つの段階を経て建設されました。2010 年第 2 四半期に、Conergy はタイの送電網に 1 メガワットを接続しました。2 番目の建設段階では、残りの 2 メガワットが設置され、2011 年 4 月までに送電網に接続されました。

Conergy の EPC チームは、顧客である Yanhee Solar のために、一番初めのコンセプトから送電網への接続に至るまでプロジェクト全体を管理しました。現在この発電所では、年間 4,471 メガワットアワーの電力生産によって、少なくとも年間 1,971 トンの二酸化炭素の排出を抑えています。

## 信頼に基づいたパートナーシップの締結

このような画期的なプロジェクトへの取り組みには、現地での強力な提携が求められます。

ドイツ・ハンブルク拠点の太陽光発電の専門企業である

Conergy は、タイの提携企業、Annex Power と共同で太陽光発電所を建設しました。この提携の締結によって、国際的な経験と現地に関する知識がうまく噛み合いました。Conergy を選択する際に出資者にとって重要な要素は、信頼できる専門企業と提携していることでした。Yanhee Solar の最高責任者である Supot Sumritvanitcha 博士は次のように述べています。「初めての大規模な太陽光発電プロジェクトのために、太陽光市場において国際的に展開している著名なパートナーを探し求めていました。そして、Conergy を見つけ出したのです。」

すべてのパートナー間でこのような強力な結びつきによって、この地域全体において新たな基準を打ち立てる画期的な太陽光発電所が完成しました。

## 環境に配慮した再生可能なタイの将来

ソーラーエネルギーは、アジアにおいてかなり重要な位置を占めており、市場は急速に拡大し続けています。Conergy のアジア太平洋および中東部門代表の Marc Lohoff は次のように述べています。「このプロジェクトは、アジアにおける Conergy の節目となるものであり、タイにおける太陽光発電市場での地位を強固にしています。再生可能なエネルギーからさらに多くの電気を生産できるよう、タイの取り組みを支援できることを楽しみにしています。」目標は明確です。タイ政府は、2022 年までに自国のエネルギー必要量の 20.4 パーセントを再生可能なエネルギーによってまかなうことを目指しています。アユタヤにある Conergy の太陽光発電所は、確実にこの目標に向けた大きな一歩となります。



プロジェクトの概要	
日付	2011 年 4 月
場所	アユタヤ (タイ)
発電量	3 メガワット
年間生産メガワットアワー	年間 4,471 メガワットアワー
太陽電池モジュール	薄膜太陽電池モジュール
パワーコンディショナー	系統連係接続パワーコンディショナー
架台	Conergy SolarLinea
発電所の規模	85,000 平方メートル
二酸化炭素削減量	1,971 トン/年

